

いちめんのなののはな

令和元年 9月11日(水)
しょうちょう すず き まこと
校長 鈴木 誠

プラネタリウムがやってきた！ 9月10日(火)

本校の稲垣教務主任が応募し、ボイラーの製造販売を手がける三浦工業（本社・愛媛県松山市）と読売新聞社の共同プログラム「プラネタリウム環境教育」が実施されました。全国でわずか7校が選ばれ、本校では4年生から6年生までが気象予報士の岩名さんによる環境授業とプラネタリウム鑑賞に取り組みました。「空を見るとわかること」をテーマにした環境授業では、岩名さんが「月にかさが見えると次の日の天気は？」などと質問。いわし雲や積乱雲など雲の種類についての説明を受けたり、地球温暖化や昨今の異常気象についての話を聞いたりしました。



子供たちの代表が、ペットボトルを使って雲を作る実験にも挑戦。地球温暖化が進んだ際の2100年を想定した岩名さんの天気予報では、あまりの高温化や台風が強くなっていることに子供たちは驚いていました。

体育館に移動して、設置されたプラネタリウムで星や星座などを鑑賞。地球が太陽の周囲を回っていることや、太陽も数ある星の一つであることなど、宇宙について理解を深めました。

「地球も宇宙の一つの星だと分かった（4年生）」

「僕たちの地球は温暖化が進んでいて、エネルギーの無駄づかいをやめます（4年生）」「地球は大切にしないと大変なことになってしまう（4年生）」「宇宙から見たら僕たちはあまりにも小さかったので驚きました（5年生）」「地球という小さな星に住んでいて、僕たちがやっていることは正しいのか不思議に思いました（5年生）」「美しい星空を守るように、車に乗るのをひかえるなどしたい（6年生）」「少しでも生物や地球を守りたい。自分もたまには電気を消して夜空や星を見たい（6年生）」「ガソリンや電気を使わないようにはできないけど、無駄に使わないようにしたい（6年生）」などの感想をもった子供たち。昨日までとは違う価値観で、空や雲、そして夜空を見つめ、自分を見直してできることを考えたり宇宙に思いをはせたりする子供たちの姿が目につかぶようです。



この週末は、中秋の名月です。御家族で夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。



ごみステーションの見学

9月10日(火)

4年生が社会科の学習で、正門の向かいにあるごみステーションを見学しました。担任の先生が収集の曜日や時間に合わせて見学を計画したおかげで、収集車の到着前から回収の終わりまでを見ることができました。音や匂いを含め、子供たちは五感を働かせて見学しました。これをもとに、学びを深め合えることを願っています。



この日は3, 4組の4年生から6年生までが、飯盒炊飯を練習。

6年生のアドバイスもあり、5年生は「ぐつぐつがなくなったら、火をくずす」などのコツをつかめました。炊いた御飯で作ったおにぎりを御馳走していただきましたが、絶品でした。6年生から、5、4年生へと学びがつながりました。

3年生の環境授業

9月6日(金)

3年生が、社会科の学習で高まった環境に対する関心を高め、視野を広げる取り組みとして、カプセル玩具のカプセルをリデュースする活動に取り組みました。

9月7日(土)の東海愛知新聞に掲載(右参照)していただきました。記事にもあるように、「身近なことでも3Rができることにびっくりした。紙などの資源を無駄遣いせず、大切にしたい」といった意識で、普段の生活を見直し続けることを願っています。

「山の学習」準備は着々と

9月9日(月)

今月の26日(水)から28日(土)にかけて実施される5年生の山の学習の準備が進んでいます。



活況と大きな成果

-PTAバザー-9月7日(土)

台風の影響を受けることなく、御厚情に恵まれ、PTAバザーを終えることができました。

学区の皆様や企業・事業所の皆様からいただいた御芳志の数々が体育館いっぱいに並べられました。そして、学区内外から多くの方が早朝より駆けつけてくださいました。

PTAの役員会や委員会で重ねてきた協議や準備。前日まで続いた寄贈品の回収や保管と搬入。前日の遅くまで体育館で行われた、会場の準備や陳列と値付け。子供たちの学習や活動の支えになればとの温かな気持ちも、片付けまでの円滑な運営と充実した成果に結びついたのではないかと思います。また、バザーをとおして、PTAの役員や委員さん、そして学区の皆様の絆が深まったこと、そうした大人の皆様の協力的で明るく朗らかな姿を子供たちが目にできたことも大きな成果ではないかと思います。ありがとうございました。